

不思議なほどに  
根が伸び、根が増す

## 育王の施用方法

昭光通商アグリ株式会社  
東京オフィス TEL03-3459-5221  
大阪オフィス TEL06-6450-0317

作物名	施用時期	希釈倍率、及び施用量	施用方法	施用目的、施用回数、施用手法等
イチゴ	親株育成時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又は灌注	健全ランナー育成に、適時
	子苗育苗時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又は灌注	健苗育成に、適時
	定植時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又はドブ浸	発根促進、植え傷み軽減に 定植直前～7日前に1回、ドブ浸けは定植時
	定植後	15～20a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	生育不良の改善、活着不良の改善 元肥窒素量が多い場合(15Kg以上/10a)樹勢が強くなりすぎる事があります。
メロン スイカ その他 ウリ類	本圃栽培時	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	花芽形成促進、果実充実肥大、成り疲れ防止に、2番果以降の各果房受精後及び樹勢低下前、月に1回位のペースで
	育苗時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水	健苗育成、根量不足時
	定植時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又はドブ浸	発根促進、植え傷み軽減に 定植直前～7日前に1回、ドブ浸けは定植時
キュウリ	本圃栽培時	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	根量増加、品質向上、樹勢回復維持、玉の肥大促進に各番果ピンポン玉肥大期
	育苗時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水	健苗育成、根量不足時
	定植時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又はドブ浸	発根促進、植え傷み軽減に 定植直前～7日前に1回、ドブ浸けは定植時
トマト	本圃栽培時	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	根量増加、成り疲れ防止、秀品率向上に 収穫期間を通じ2～4週間毎
	育苗時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水	健苗育成、根量不足時
	定植時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又はドブ浸	発根促進、植え傷み軽減に 定植直前～7日前に1回、ドブ浸けは定植時
ナス ピーマン	本圃栽培時	10a当り1～1.5Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	樹勢回復、品質向上に 収穫開始後15～30日間隔毎
	育苗時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水	健苗育成、根量不足時
	定植時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又はドブ浸	発根促進、植え傷み軽減に 定植直前～7日前に1回、ドブ浸けは定植時
アスパラガス	本圃栽培時	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	株の養生充実に、貯蔵養分蓄積促進に 収穫開始後、貯蔵養分蓄積期前に
水稲	田植前	1000倍以上に希釈し、4ha分の苗に対し1kg 田植前3～7日前に灌水 1kg/10a～30a	灌水	活着促進、分けつ促進に
	本圃栽培時	田植え後3週間頃	流し込み	根の活性促進に、有効茎の確保に一旦水を抜き再度水と共に流し込み
茶	幼苗育苗時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又はドブ浸	発根後、苗の充実株作り、 定植時の活着促進に、ドブ浸けは定植時
	本樹園	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水	芽数、芽重増加に摘採の1ヶ月前位と貯蔵養分蓄積前に、根圏に到達する様、畝間灌水
葉菜類 (苗移植タイプ) キャベツ レタス ハクサイ ブロッコリー カリフラワー等	育苗時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水	健苗育成、発根促進、根鉢充実に 適時灌水
	定植時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又はドブ浸	活着促進のため定植直前～7日前 灌水を兼ねて1回、ドブ浸けは定植時
葉菜類 (直播タイプ) ホウレンソウ コマツナ シュンギク ハクサイ等	発根後	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	生育促進、品質向上、収量増加に
	本圃栽培時	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	収量、稔実アップ、樹勢維持に
エンドウ グリーンピース インゲン等	発根後	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	生育促進に、適時灌水又は灌注
	本圃栽培時	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	収量、稔実アップ、樹勢維持に
馬鈴薯 甘藷	植付け前	1000倍液	浸漬又はどぶ浸	活着促進、生育促進

不思議なほどに  
根が伸び、根が増す

## 育王の施用方法

昭光通商アグリ株式会社  
東京オフィス Tel.03-3459-5221  
大阪オフィス Tel.06-6450-0317

作物名	施用時期	希釈倍率、及び施用量	施用方法	施用目的、施用回数、施用手法等
タバコ	育苗時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水	健苗育成、植え傷み軽減、根量不足時適宜、灌水
	定植時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又はドブ浸	活着促進、植え傷み軽減に 定植直前～7日前に1回、ドブ浸けは定植時
	本圃栽培時	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	生育促進、品質向上に
ネギ	育苗時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水	健苗育成、根量増加に
	定植時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水	活着促進、植え傷み軽減に 定植の直前～7日前に1回
	本圃栽培時	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水	定植後の土寄せ前に1回
ニラ	育苗時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水	根量増加、株の充実育成に
	定植時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又はドブ浸	活着促進、植え傷み軽減に 定植の直前～7日前に1回
	本圃栽培時	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	株の充実、分けつ促進に、刈り取り後 都度1回、収穫終了後蓄積養分充実の ため1回
ビート	育苗時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水	株の充実、根量不足時に 育苗期間中に1回
	定植時	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水	活着促進、植え傷み軽減に
花卉 (球根類)	発根後	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	着花数の増加、花や葉茎の鮮度保持に
花卉	発根後	1000倍以上に希釈し根に充分とどく様に施用	灌水又は灌注	樹勢の維持や花色向上、 鮮度保持、樹勢低下前に
	定植時	1000倍以上に希釈し、ドブ浸け	ドブ浸け	活着促進に
花木類	定植時	1000倍以上に希釈し、ドブ浸け	ドブ浸け	発根、活着促進にドブ浸け後、定植
	切り戻し時	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	樹勢回復、新植更新回数低減に
	摘蕾時	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	品質向上に
芝	樹勢低下時と 貯蔵養分 蓄積前	1000倍以上に希釈し、1kg/1000㎡	灌水又は灌注	芽数増加と樹勢回復に、更新作業後根に液 が接触する様に施用
	芝張り時	1000倍以上に希釈し、1kg/1000㎡	ドブ浸又は灌水	活着促進に1000倍以上の希釈液に ドブ浸け、又は芝張り後灌水
	発根後	1000倍以上に希釈し、1kg/1000㎡	灌水又は灌注	播種後、密度の高いターフの形成促進に
ブドウ サクランボ モモ等	樹液流動後 花止り後	10a当り1Kgを1000倍以上に希釈	灌水又は灌注	樹勢回復、品質向上に、できるだけ 水量を増やし根圏に到達するように

※育王は葉面散布剤ではありません。希釈して根に触れるように灌水等をして下さい。

※希釈液はその日の内に使用し、長時間放置しないで下さい。

※葉菜、果菜、水稲、花卉、茶樹、他のあらゆる作物に対し、水量を増やし

希釈液が根に直接接触する様、施用して下さい。

※農薬との混用は原則として避けてください。

液肥との混用は一方を希釈後混用し、ただちに使い切して下さい。

※育王を使用すると発根力が旺盛になりますので過剰施肥に注意して下さい。